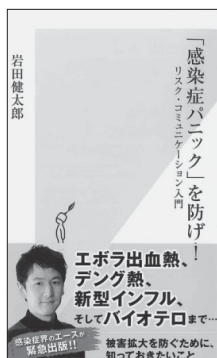


今月の3冊プラス1



「感染症パニック」を防げ！ リスク・コミュニケーション入門

著：岩田健太郎
発行：光文社（光文社新書） TEL：03-5395-8116
定価：本体 860 円＋税

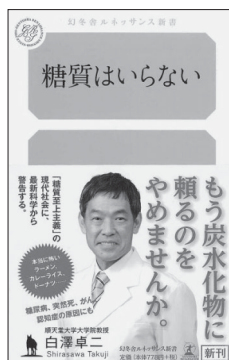
感染症によるパニックを防ぐためには、「怖さ」をどのようにとらえ、いかに効率的に伝えるかが重要になる。感染症のスペシャリストである著者が、自らの経験を交えながら、リスク・コミュニケーションのあり方を教える。公衆衛生従事者は高い関心をもって読むことができるだろう。



人が病気で死ぬワケを考えてみた ねじ子の医療絵図

著：森皆ねじ子
発行：主婦と生活社 TEL：03-3563-5121
定価：本体 1000 円＋税

医学書院発行の「ぐっとくる」シリーズでおなじみの「ねじ子」先生の死をめぐる医療コミックエッセイ。「人が病気で死ぬワケ」を、感染症、がん、生活習慣病を軸に、これ以上ないわかりやすさで解説。「病とは」「生命とは」「死ぬこととは」などを考える契機になる1冊。



糖質はいらない

著：白澤卓二
発行：幻冬舎ルネッサンス（新書） TEL：03-5411-6710
定価：本体 778 円＋税

著者は白米や小麦のような炭水化物を好む「糖質至上主義」の食生活は、病気や老化を招くと警鐘を鳴らす。糖質を絶つと、体はどのように変わるのか。健康長寿研究の第一人者が、糖質のもたらす弊害を科学的に追究する。



ナイチンゲールの市街戦・1

原作：鈴木洋史 漫画：東裏友希
発行：小学館 TEL：03-5281-3556
定価：552 円＋税

「ナイチンゲールになりたい」が口癖の新人訪問看護師、宮間美守が主人公の医療漫画の第1巻。訪問看護師が現場で出会うさまざまな出来事を、コミカルかつシリアスに描く。訪問看護師の仕事の内容や在宅医療の現状を知ることができる。